

2026年3月9日

各位

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
株式会社 北陸銀行**轟建設株式会社の SBT 認定の取得に向けた支援について**

ほくほくフィナンシャルグループの北陸銀行(頭取 中澤 宏)は、轟建設株式会社(代表取締役社長 河野 喜之)の脱炭素に関する取り組みに際し、株式会社ナレッジグリーン(代表取締役 笹井 幹夫)とともに SBT 認定の取得支援を行いましたので、お知らせいたします。

記

1. 本件の概要

脱炭素の取り組みは、大企業だけに留まらずサプライチェーン全体での取り組みが求められ、地域社会・地域企業においても最重要課題になりつつあります。この背景のもと、轟建設株式会社は気候変動の原因とされる温室効果ガスの排出量削減に取り組む重要性を認識し、以下の目標を設定しました。

SBT 短期目標(中小企業版 SBT)

Scope1 および Scope2 の温室効果ガス排出量を 2030 年までに 2023 年比 42%削減

北陸銀行においては、引き続きお客さまの脱炭素化の取り組みについてナレッジグリーンをはじめとする協業先と連携し、ご支援をすることで持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。

2. SBT について

SBTとは Science Based Targets の頭文字を取ったもので、「科学的根拠に基づく目標」と訳されます。産業革命前と比べた世界の平均気温の上昇を 1.5℃未満に抑えるという、温室効果ガス排出量削減目標のことです。

企業が環境問題に取り組んでいることを示す目標設定の一つとして 2015 年のパリ協定をきっかけに誕生し、SBT イニシアチブによって企業の設定した目標が SBT に整合しているかの検証・認定が行われています。SBT 認定を受けることにより、パリ協定に整合する持続可能な企業であることを社内外にアピールでき、企業価値向上が期待できます。

SBT では、通常版(主に大企業が対象)と中小企業版の 2 つの申請ルートが用意されており、轟建設株式会社は中小企業版での認定を取得しました。

3. 轟建設株式会社について

轟建設は 1930 年創業以来、培ってきた高い技術と豊富なノウハウを生かし、道路・鉄道・港湾・上下水道などのインフラ整備や冬季の除雪作業を通じて、地域社会の快適な生活を支えてまいりました。特に土木工事における地下掘削においては、福井県内トップクラスの実績を誇ります。

また、近年は自社施工現場において ICT 重機を順次導入しており、「Smart Construction」などの導入により、安全性と生産性を両立したスマートかつクリーンな「未来の現場」の実現に取り組んでいます。

同社はこのような従来の取り組みに加え、新たに設定した SBT 目標の達成に向け、地域社会とともに持続可能な未来の創造に寄与してまいります。



ダンプ積み込み作業(工事現場)

ICT重機運転席

4. 株式会社ナレッジリーンについて

2000年の創業から25年以上、民間企業、自治体へ脱炭素/環境に関するコンサルティングを手掛け、豊富な実績、知見を有しています。

脱炭素化に関して目標設定、計画策定から、エネルギー・CO2 排出量削減診断と削減実行支援まで脱炭素化ステップに関するコンサルティング業務を一気通貫して提供可能です。

具体的には、SBT などの脱炭素経営に関する認証支援、TCFD や CDP、EcoVadis などのイニシアチブ対応支援、有価証券報告書・サステナビリティレポートなどの情報開示支援、脱炭素ロードマップ策定支援、温室効果ガス排出量算定(Scope1,2,3、LCA、カーボンフットプリント)支援を主としています。また、支援の領域も環境分野に留まらず、サステナビリティ全般へ広がっています。

資格を有するエネルギー専門家も在籍し、省エネ診断・省エネアドバイス、再エネ購入支援、再エネ導入可能性調査、省エネ法対応支援など、エネルギーに関する総合的な支援も行っています。

幅広い支援実績に基づき、顧客企業の状況、要望に合わせた柔軟な対応が同社の特長です。

5. 該当する SDGs の目標



SDGsは Sustainable Development Goals の略称で、2015年に国連で採択された2030年までに達成すべき17の目標と169の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。ほくほくフィナンシャルグループは2019年4月に「SDGs宣言」を表明しました。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>
 ほくほくフィナンシャルグループ SX推進部 TEL:076-423-7331